平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月2日

上場会社名　株式会社ダイセル　　上場取引所　東 大
コード番号　4202　URL　http://www.daicel.com
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 札場　操
問合せ先責任者 (役職名) IR広報グループリーダー　(氏名) 畑　理史　TEL 03-6711-8121

四半期報告書提出予定日　平成23年11月14日　配当支払開始予定日　平成23年12月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	168,225	△7.0	11,479	△44.9	11,718	△40.8	5,765	△25.6
23年3月期第2四半期	180,902	25.9	20,851	307.6	19,779	317.7	7,747	263.9

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　2,800百万円　(△30.0%)　23年3月期第2四半期　3,998百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	16.23	—
23年3月期第2四半期	21.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	400,442	234,249	52.6
23年3月期	411,071	235,336	51.6

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　210,729百万円　23年3月期　212,052百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.00	—	6.00	10.00
24年3月期	—	5.00			
24年3月期(予想)			—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	352,000	△0.5	23,000	△29.7	23,000	△27.1	13,500	△19.7	38.38

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	364,942,682 株	23年3月期	364,942,682 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	13,199,098 株	23年3月期	9,185,807 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	355,218,950 株	23年3月期2Q	355,865,685 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 4
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）追加情報 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）セグメント情報等 …… 10
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間のわが国経済は、東日本大震災により景気全般が大きな影響を受けましたが、第２四半期に入ると生産活動の回復が進み、持ち直しの動きが見えてきました。しかし、電力供給の制約や原子力災害の影響、海外景気の下振れ懸念が継続し、円高も第２四半期に入ってさらに進行するなど、予断を許さない状況のうちに推移いたしました。

このような環境の中、当第２四半期連結累計期間の売上高は、販売数量の減少と円高により、1,682億25百万円（前年同期比7.0％減）となりました。利益面では、原燃料価格の上昇や販売数量減少に伴う設備稼働率の低下などにより、営業利益は114億79百万円（前年同期比44.9％減）、経常利益は117億18百万円（前年同期比40.8％減）、四半期純利益は57億65百万円（前年同期比25.6％減）となりました。

なお、特別損失として、災害による損失４億34百万円を計上しております。その主な内容は、東日本大震災により自動車エアバッグ用インフレータ事業が通常の操業度を著しく下回ったことに伴う期間中の固定費などであります。

セグメント別の状況は次のとおりです。

［セルロース事業部門］

酢酸セルロースは、主に液晶表示向けフィルム用途の需要が、液晶パネルの流通在庫調整の影響を受け、売上高は減少いたしました。

たばこフィルター用トウは、海外向けの販売は好調に推移しましたが、昨年10月の国内たばこ増税や円高の影響を受け、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、348億44百万円（前年同期比13.6％減）、営業利益は、円高や原燃料価格の高騰などにより、33億83百万円（前年同期比56.1％減）となりました。

［有機合成事業部門］

主力製品の酢酸は、主要用途である高純度テレフタル酸（ＰＴＡ）向けを中心に需要が堅調に推移しましたが、当社姫路製造所網干工場の２年に１度の定期修繕を実施したことが影響し、売上高は減少いたしました。

酢酸誘導体及び各種溶剤類などの汎用品は、酢酸エチルの販売が好調に推移したこともあり、売上高は増加いたしました。

カプロラクトン誘導体やエポキシ化合物、半導体レジスト材料などの機能品は、アジア向けの需要が堅調に推移しましたが、電子材料市場の調整や円高の影響を受けたこともあり、売上高は微減となりました。

光学異性体分離カラム、医薬中間体などのキラルケミカル（光学活性体）事業は、中国、インドを始めとした海外向けのカラム販売が総じて好調を継続し、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、400億87百万円（前年同期比2.1％減）、営業利益は、原燃料価格の高騰などにより、35億18百万円（前年同期比12.5％減）となりました。

［合成樹脂事業部門］

ポリアセタール樹脂、ＰＢＴ樹脂、液晶ポリマーなどのエンジニアリングプラスチックは、12月決算会社である連結子会社ポリプラスチックス株式会社及びその子会社群が事業を行っております。当第２四半期累計期間にあたる平成23年１～６月においては、国内を中心に震災の影響を大きく受け、売上高は減少いたしました。

ＡＳ・ＡＢＳ樹脂、エンプラアロイ樹脂を中心とした樹脂コンパウンド事業は、自動車向けなどで震災の影響を受けましたが、一部製品での復興需要もあり、売上高は増加いたしました。

シート、成形容器、フィルムなどの樹脂加工事業は、国内の食品向け需要が低迷しましたが、一部フィルム製品に震災特需があり、売上高は横這いとなりました。

当部門の売上高は、666億77百万円（前年同期比3.7％減）、営業利益は、円高や原燃料価格の高騰などにより、66億27百万円（前年同期比23.7％減）となりました。

［火工品事業部門］

自動車エアバッグ用インフレータ（ガス発生器）及びシートベルト・プリテンショナー用ガス発生器（ＰＧＧ）は、第２四半期に入り自動車生産の回復に伴い販売数量は持ち直しましたが、第１四半期の震災による影響が大きく、売上高は減少いたしました。

発射薬、ミサイル構成部品、航空機搭乗員緊急脱出装置関連製品などの特機事業は、防衛省による調達数量の増加により、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、235億80百万円（前年同期比13.5％減）、営業利益は、震災による販売数量の減少に伴う設備稼働率の低下などが影響し、17億４百万円（前年同期比50.3％減）となりました。

［その他部門］

水処理用分離膜モジュールなどのメンブレン事業は、透析用装置や空調機などの室外機用散水装置が好調に推移し、売上高は増加いたしました。

その他、運輸倉庫業などの売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、30億35百万円（前年同期比3.5％減）、営業利益は、４億77百万円（前年同期比35.4％減）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

総資産は、現金及び預金、たな卸資産は増加しましたが、受取手形及び売掛金、有形固定資産の減少及び投資有価証券の時価評価額の減少などにより、前連結会計年度末に比し106億28百万円減少し4,004億42百万円となりました。

負債は、主に長期借入金の返済により前連結会計年度末に比し95億41百万円減少し、1,661億93百万円となりました。

また純資産は、2,342億49百万円となりました。純資産から少数株主持分を引いた自己資本は、2,107億29百万円となり自己資本比率は52.6％となりました。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は189億７百万円（前年同期は、263億77百万円の増加）となりました。資金増加の主な内容は、税金等調整前四半期純利益107億97百万円、減価償却費145億96百万円及び売上債権の減少30億30百万円であり、資金減少の主な内容は、たな卸資産の増加48億８百万円及び法人税等の支払額44億23百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は19億47百万円（前年同期は、59億47百万円の減少）となりました。資金増加の主な内容は、有価証券の減少36億29百万円であり、資金減少の主な内容は、有形固定資産の取得による支出57億57百万円及び投資有価証券の取得による支出16億40百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の減少は116億95百万円（前年同期は、109億51百万円の減少）となりました。資金減少の主な内容は、長期借入金の返済による支出65億76百万円、配当金の支払額21億34百万円、自己株式取得による支出18億15百万円及び少数株主への配当金の支払額14億90百万円であります。

以上の結果、当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は388億59百万円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済は、急激な円高に加え、世界経済の不確実性と相まって、不透明で予断を許さない状況が続くと予想されます。

このような状況下、当社グループは、中期計画「３Ｄ－Ｉ」の基本戦略である新規事業の創出、コア事業のさらなる強化、コスト競争力の強化、グローバルでの事業展開の拡大・強化などを着実に遂行しております。

当社グループの通期の業績見通しにつきましては、当第２四半期連結累計期間の業績と、円高や先行き不透明な経済情勢、原燃料価格の上昇などを踏まえ、売上高3,520億円、営業利益230億円、経常利益230億円、当期純利益135億円を予想しております。

＜平成24年３月期の連結業績予想＞

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（Ａ）	364,000	27,000	27,500	16,000	44円97銭
今回発表予想（Ｂ）	352,000	23,000	23,000	13,500	38円38銭
増減額（Ｂ－Ａ）	△12,000	△4,000	△4,500	△2,500	
増減率（％）	△3.3	△14.8	△16.4	△15.6	
（ご参考）前期実績	353,684	32,711	31,561	16,802	47円22銭

※上記業績予想数値は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、従来、連結子会社のうち決算日が12月31日であった以下の会社については、同日現在の財務諸表を利用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について必要な調整を行っておりましたが、第１四半期連結会計期間より決算日を３月31日に変更しております。

Daicel Safety Systems America, LLC
Daicel Safety Technologies America, Inc.
Daicel Safety Systems (Thailand) Co., Ltd.
Daicel Safety Technologies (Thailand) Co., Ltd.
Daicel (U.S.A.), Inc.

また、従来、連結子会社のうち決算日が12月31日である以下の会社については、同日現在の財務諸表を利用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について必要な調整を行っておりましたが、第１四半期連結会計期間より連結決算日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しております。

Daicel Safety Systems Europe Sp. z o. o.
Daicel Safety Systems (Jiangsu) Co., Ltd.

（２）追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,140	36,666
受取手形及び売掛金	70,628	67,456
有価証券	9,935	7,923
たな卸資産	70,503	75,270
その他	12,757	12,148
貸倒引当金	△56	△76
流動資産合計	197,908	199,390
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	47,113	44,802
機械装置及び運搬具（純額）	69,956	62,483
土地	26,543	26,501
建設仮勘定	4,734	5,722
その他（純額）	2,339	2,218
有形固定資産合計	150,689	141,729
無形固定資産	2,799	2,447
投資その他の資産		
投資有価証券	45,828	41,625
その他	13,991	15,393
貸倒引当金	△145	△143
投資その他の資産合計	59,673	56,875
固定資産合計	213,162	201,052
資産合計	411,071	400,442
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44,991	46,058
短期借入金	9,815	10,743
1年内返済予定の長期借入金	12,806	14,355
未払法人税等	3,710	2,105
修繕引当金	3,332	927
その他	16,089	15,899
流動負債合計	90,745	90,089
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	41,592	33,213
退職給付引当金	9,428	9,928
役員退職慰労引当金	54	49
修繕引当金	70	389
資産除去債務	1,039	1,051
その他	2,803	1,471
固定負債合計	84,988	76,103
負債合計	175,734	166,193

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,275	36,275
資本剰余金	31,579	31,579
利益剰余金	143,813	148,555
自己株式	△4,195	△6,010
株主資本合計	207,472	210,399
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,516	8,798
繰延ヘッジ損益	△153	△112
為替換算調整勘定	△7,783	△8,355
その他の包括利益累計額合計	4,579	330
少数株主持分	23,284	23,519
純資産合計	235,336	234,249
負債純資産合計	411,071	400,442

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	180,902	168,225
売上原価	134,817	131,806
売上総利益	46,085	36,418
販売費及び一般管理費	25,233	24,939
営業利益	20,851	11,479
営業外収益		
受取利息	91	143
受取配当金	451	636
持分法による投資利益	707	739
その他	448	712
営業外収益合計	1,699	2,232
営業外費用		
支払利息	937	769
為替差損	1,090	749
その他	743	473
営業外費用合計	2,771	1,992
経常利益	19,779	11,718
特別利益		
固定資産処分益	5	5
関係会社株式売却益	382	239
補助金収入	－	1,000
特別利益合計	387	1,245
特別損失		
固定資産除却損	216	441
減損損失	74	374
投資有価証券評価損	360	4
固定資産圧縮損	－	911
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	831	－
災害による損失	－	434
特別損失合計	1,482	2,167
税金等調整前四半期純利益	18,685	10,797
法人税、住民税及び事業税	3,412	2,666
過年度法人税等	1,540	－
法人税等調整額	3,522	699
法人税等合計	8,475	3,366
少数株主損益調整前四半期純利益	10,209	7,431
少数株主利益	2,462	1,666
四半期純利益	7,747	5,765

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	10,209	7,431
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,594	△3,730
繰延ヘッジ損益	△30	13
為替換算調整勘定	△1,433	△986
持分法適用会社に対する持分相当額	△151	72
その他の包括利益合計	△6,210	△4,630
四半期包括利益	3,998	2,800
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,781	1,095
少数株主に係る四半期包括利益	2,216	1,705

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	18,685	10,797
減価償却費	16,555	14,596
減損損失	74	374
受取利息及び受取配当金	△543	△780
支払利息	937	769
持分法による投資損益（△は益）	△707	△739
固定資産除売却損益（△は益）	210	435
固定資産圧縮損	－	911
補助金収入	－	△1,000
売上債権の増減額（△は増加）	654	3,030
たな卸資産の増減額（△は増加）	△5,546	△4,808
仕入債務の増減額（△は減少）	2,071	686
その他	698	△1,390
小計	33,089	22,884
利息及び配当金の受取額	983	1,219
利息の支払額	△942	△773
法人税等の支払額	△6,753	△4,423
営業活動によるキャッシュ・フロー	26,377	18,907
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の純増減額（△は増加）	－	3,629
有形固定資産の取得による支出	△6,148	△5,757
有形固定資産の売却による収入	7	12
無形固定資産の取得による支出	△129	△191
投資有価証券の取得による支出	△905	△1,640
貸付けによる支出	△32	△131
貸付金の回収による収入	1,019	471
補助金収入	－	1,000
その他	242	659
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,947	△1,947
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△537	320
長期借入れによる収入	5,194	－
長期借入金の返済による支出	△12,089	△6,576
自己株式の取得による支出	△83	△1,815
自己株式の売却による収入	9	0
配当金の支払額	△2,135	△2,134
少数株主への配当金の支払額	△1,310	△1,490
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,951	△11,695
現金及び現金同等物に係る換算差額	△850	△101
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	8,627	5,162
現金及び現金同等物の期首残高	30,128	33,724
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	－	156
連結子会社の決算期変更に伴う期首現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	－	△183
現金及び現金同等物の四半期末残高	38,755	38,859

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自平成22年４月１日 至平成22年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	セルロース事業	有機合成事業	合成樹脂事業	火工品事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	40,335	40,934	69,239	27,248	177,757	3,145	180,902	－	180,902
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,454	7,207	6	－	8,668	5,032	13,701	△13,701	－
計	41,790	48,141	69,245	27,248	186,426	8,178	194,604	△13,701	180,902
セグメント利益	7,707	4,020	8,688	3,427	23,843	738	24,581	△3,729	20,851

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業及び運輸倉庫業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△3,729百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社における基礎研究及び管理部門等に係る費用であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	セルロース事業	有機合成事業	合成樹脂事業	火工品事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	34,844	40,087	66,677	23,580	165,190	3,035	168,225	－	168,225
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,327	7,907	3	－	9,239	4,874	14,113	△14,113	－
計	36,172	47,994	66,681	23,580	174,429	7,909	182,339	△14,113	168,225
セグメント利益	3,383	3,518	6,627	1,704	15,234	477	15,711	△4,231	11,479

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業及び運輸倉庫業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△4,231百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社における基礎研究及び管理部門等に係る費用であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。